

研究課題番号	1RF-2303
研究課題名	マイクロプラスチックと吸着物質の相互作用による海洋汚染促進効果の解明
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	静岡県立大学
研究代表者名	野呂 和嗣

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

プラスチックとそれに吸着した PAHs の相互作用により、マイクロプラスチックの生成量がどの程度増加するのか、吸着物質の寿命がどの程度伸びるのかを定量的に明らかにしようとする研究で、計画通りに多くの実験を行い、光分解抑制係数や劣化速度定数を明らかにしたことは評価できる。当初想定していた基礎データの取得は着実に進んだと言える。また、実海域での観測も着実に実施し海域による違いが明らかになってきている。また、観測において地方環境研究所と連携が図られていることは研究の効率性の面からも評価できる。今後の研究では、データの量的蓄積とともに相互作用の機構についての詳細な検討が必要になってくると思われ、着実な研究の進捗を期待する。また、環境動態にかかる実データの収集は重要であり、その成果に期待したい。